

^ 5
4124
5



4124
5-6



新類題發句集雜之部

戀

蝶夢編

いそむる心ゆきまほしき移りすまはら	いそむる心ゆきまほしき移りすまはら	いそむる心ゆきまほしき移りすまはら	いそむる心ゆきまほしき移りすまはら	いそむる心ゆきまほしき移りすまはら	いそむる心ゆきまほしき移りすまはら
古竹	紫糸	五来	掬斗	三白	

さびしき花の影をみれば
切なる心もわかれぬらん

瓦全
月溪
馬島

恨恋

離面もくらくは離れし程
うたへ人の心もなほなほ

高海
五中
正巴

別恋

去程の心もなほなほ
あはれもなほなほなほ

素心
後中
後恋

新二

後朝恋
後中
後恋

梅屋

志の落も思ふ人のこころ
傘の影もなほなほなほ

松崎
小達

思恋

君の影もなほなほなほ
病の影もなほなほなほ

後中
後恋
心結

相思恋

恨の心もなほなほなほ

月川

顯恋

錦末代の... 錦末代の...

倭寇

阿比人... 阿比人...

Handwritten text in cursive script, possibly bleed-through or faint writing.

其批

同居

田福

那在

新三

羈旅

Handwritten text in cursive script, likely bleed-through from the reverse side.

葉戸

東舟

無有

波鴉

金丁

降極

一行

臨善

行入... 岐山
 ... 芦水
 ... 弄嫁
 ... 後川
 ... 古友
 ... 外
 ... 師由
 ... 如伯
 ... 可休
 ... 素兄

新四

... 山海
 ... 香山
 ... 素郷
 ... 吾舍
 ... 素運

送別

あはれなるはなれはなれはなれはなれ

古巣

あはれなるはなれはなれはなれはなれ

成美

あはれなるはなれはなれはなれはなれ

素約

あはれなるはなれはなれはなれはなれ

却亭

あはれなるはなれはなれはなれはなれ

惟宗

あはれなるはなれはなれはなれはなれ

友成

あはれなるはなれはなれはなれはなれ

あはれなるはなれはなれはなれはなれ

あはれなるはなれはなれはなれはなれ

あはれなるはなれはなれはなれはなれ

あはれなるはなれはなれはなれはなれ

あはれなるはなれはなれはなれはなれ

あはれなるはなれはなれはなれはなれ

あはれなるはなれはなれはなれはなれ

あはれなるはなれはなれはなれはなれ

あはれなるはなれはなれはなれはなれ

あはれなるはなれはなれはなれはなれ

雷別

雷の心は雷の心也古雷

谷水

雷の心は雷の心也古雷

雷心

雷の心は雷の心也古雷

雷心

雷の心は雷の心也古雷

雷心

雷の心は雷の心也古雷

雷心

雷の心は雷の心也古雷

雷心

雷の心は雷の心也古雷

雷心

雷の心は雷の心也古雷

雷心

雷の心は雷の心也古雷

雷の心は雷の心也古雷

雷の心は雷の心也古雷

雷の心は雷の心也古雷

雷の心は雷の心也古雷

雷の心は雷の心也古雷

名處

くわくやふまの古き人の名	尾
善くけし人の世に清く暮るる	梅東
山崎成乃秋や牛乳のまじり	香凡
花に遠くをゆくか大雁川	凡十
冬にゆきや雪舟にふくむる	香山
友の手に彩雲待まらん	山崎
涼軒や福島のぬかや	山父
あまたの世のふもや大石	松音

雜七

古き人の名 善くけし人の世に清く暮るる
 山崎成乃秋や牛乳のまじり 花に遠くをゆくか大雁川
 冬にゆきや雪舟にふくむる 友の手に彩雲待まらん
 涼軒や福島のぬかや あまたの世のふもや大石

梅東 香凡 凡十 香山 山崎 山父 松音

Handwritten cursive script line 1

錦霞

Handwritten cursive script line 2

山葉女

Handwritten cursive script line 3

甚香

Handwritten cursive script line 4

帆凡

Handwritten cursive script line 5

山葉

Handwritten cursive script line 6

巖草二百

Handwritten cursive script line 7

太溪

Handwritten cursive script line 8

Handwritten cursive script line 9

巴陸

雜八

Handwritten cursive script line 10

軍交

Handwritten cursive script line 11

泊唐

Handwritten cursive script line 12

之着

Handwritten cursive script line 13

蝶夢

Handwritten cursive script line 14

Handwritten cursive script line 15

其思

Handwritten cursive script line 16

子來

懐舊

むかし一帯は杜若の香に満ちてゐた
 一瓢
 雲津の義仲の末裔の六百の
 侍は
 凍解して前の松もあつた
 塘里
 一乃の古我場
 山風も長きおりの
 三季
 淡川の村の
 馬頭
 福の

三の
 一場
 金沢の
 富の
 園
 友の
 雨の
 湖
 菫の

素見
 好皮
 紫衣
 李后
 此相
 仍亮
 碎茶
 肉之餅之丸之
 年之
 海臣

新上

有真
 龍愛
 俊祐
 鷲口
 雨路
 雨路

秋のてはるしきりし西子影
くも紗のわらふる雲の葉 蒲尺
くも枯れぬ葉の影の着るよると
牙乃葉のくもわらふる葉の陰 襟巻
くもやけしきりしもむもむし
義律のまじけりはあむれりまじけり
福のりて喜のりてあむらむら 几童
南羽の義風ふれぬる福のりてあむらむら
喜のりてあむらむらむらむら 如左
世は道にてもあむらむらむらむら

あつはらむらむらむらむら 七歳
かたはらむらむらむらむら
お園のむらむらむらむら 風兼
くもわらふるもむらむらむら 竹義
おはらむらむらむらむらむら 眼亭
笑のりてあむらむらむらむら 竹葉
くもわらふるもむらむらむらむら 吉武

哀傷

夫若人其心何如哉

也其心何如哉

其心何如哉

其心何如哉

其心何如哉

其心何如哉

其心何如哉

八月十日公在也

女 克朗

女 歎毒

道紀

竹風

新十三

夫若人其心何如哉

其心何如哉

其心何如哉

其心何如哉

其心何如哉

其心何如哉

其心何如哉

其心何如哉

其心何如哉

其心何如哉

若如

若如

若如

太溪

碧白

新十四

瓜抱てん *Umbelliferaceae* 菜二
Umbelliferaceae
 瓜抱てん *Umbelliferaceae* 菜二
Umbelliferaceae
Umbelliferaceae
Umbelliferaceae
Umbelliferaceae
Umbelliferaceae
Umbelliferaceae
Umbelliferaceae
Umbelliferaceae
 菜二

Umbelliferaceae
Umbelliferaceae
Umbelliferaceae
 燕村者人 *Umbelliferaceae* 佛得尔
Umbelliferaceae
Umbelliferaceae
Umbelliferaceae
Umbelliferaceae
Umbelliferaceae
 菜二

無常

十喜風のこきりさるる山
 重厚
 多るがやふりたしを風中
 鏡若
 さらけや珠粒のめいさ
 史雪
 化野おさるるあけち争る
 白堂
 あきりのや露を命の件を
 東走
 聖さるや松のゆかりの清
 李山
 曾あつる筆お打る書指尾
 自來
 ぬも誰人きるる好乃せ
 梧泉

新十五

白音觀二白

十のゆりやまき松の枝
 松
 美るはらりまき
 藤若
 堅葉ちらめりや牡丹を
 葛
 久るるもさるるは
 一徹
 持るるもさるるは
 如
 ぬも誰人きるる好乃せ
 曾氏

贈答

あはれなきはなをよみてはるる
 日影もやけしむらさきの雲
 訪隠者ふ偶
 竹の音もよみかきかき
 暮らさるる人かきかき
 雲の影もよみかきかき
 素心
 雨人

巻十六

あはれなきはなをよみてはるる
 七文の夜人かきかき
 君もよみかきかき
 月影もよみかきかき
 おきかきかきかき
 かく
 月影もよみかきかき
 月影もよみかきかき

Handwritten cursive text, likely a signature or name.

輝牛

Handwritten cursive text.

三肥

Handwritten cursive text.

Handwritten cursive text.

Handwritten cursive text.

吾人

Handwritten cursive text.

Handwritten cursive text.

Handwritten cursive text.

Handwritten cursive text.

信号

推十七

Handwritten cursive text.

曉曇

Handwritten cursive text.

Handwritten cursive text.

一音

Handwritten cursive text.

Handwritten cursive text.

幽管

Handwritten cursive text.

Handwritten cursive text.

月川

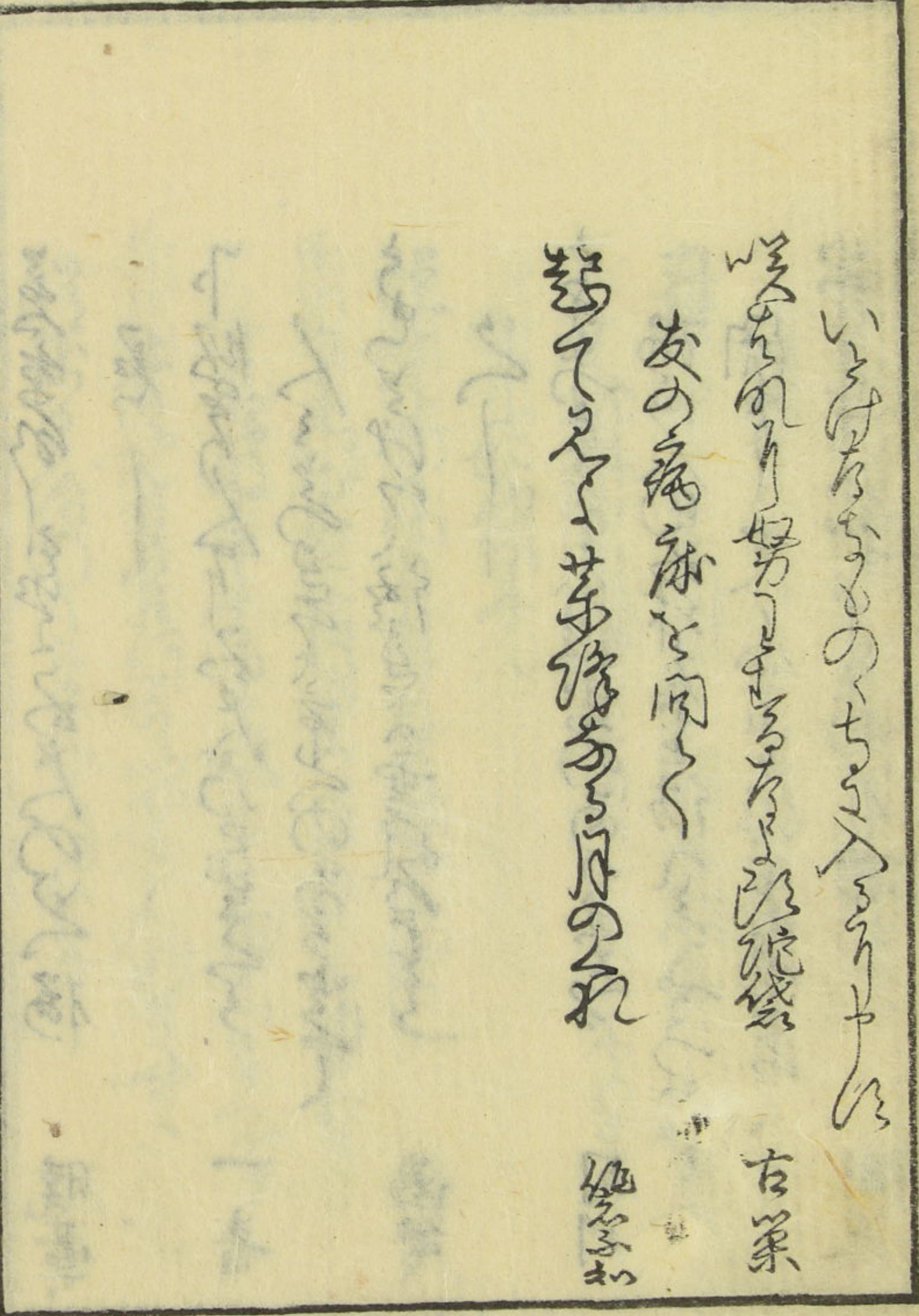
Handwritten cursive text.

Handwritten cursive text.

Handwritten cursive text.

石路

いふはなまのいぢりやうりや
 嘆きの声も男も女もたゞ此の世
 友の病を病と問ふ
 悲しくも苦味もあつた月のはれ
 古菜
 他意か



新十八

畫讚

猿の三妻變乃繪
 月夜にみゆ人まはれりま世ら
 寒山拾得の畫
 筆拈くけりかきまはるの書
 同景よ人のまはるるのまはるる
 むらじふるまはるるのまはるる
 大黒のまはるるの畫
 秋のまはるるのまはるる
 蝶夢
 松崎
 集嘉
 散菴

守春守貫二筆の三々乃寫

竹う筆の半一も林一樹の寫

若ふ龜乃西

秋の雪連浦の菊色すまふらる

水ふを骨乃法

河骨をなめて秋のふ雪

龜能乃繪

夕影のまふらるるまの舞

李白酒半碑乃圖

竹う筆の寫りまふらる

道肥

鼓勢

雨竹

馬隨

兼隱

雜十九

碎李白圖

杖のまふらるる葉の今

出山秋遊

山のまふらるる河の八の

紙燭てなれまの繪

まのまふらるる血の吐まの郭

九相乃寫

まのまふらるるまのまの

李厚

陸史

陸史

詩歌

長安万戸子親一勢

泪やちひちりりふ鄙くもの

曉臺

暮色在原園人未知

乃た秋も遠くもさしこころは

成美

言風もさしこころは遠くもさしこころは

秋入るまじり書いさらしむら

瞳無

たは美物もさしこころは遠くもさしこころは

木の葉もさしこころは遠くもさしこころは

杏清

雑抄

年々歳々人不同

うりねもさしこころは遠くもさしこころは

依弓

たは美物もさしこころは遠くもさしこころは

釣るもさしこころは遠くもさしこころは

雷居

美人折牡丹

おふ人の指もさしこころは遠くもさしこころは

景戸

高枕石頭眠

世の中は清もさしこころは遠くもさしこころは

青容

寒盡不知春

掃もさしこころは遠くもさしこころは

杜由

花飛蝶驚人不愁

ほろろと驚きもたたりし春の夜 二柵

花は散るも春の夜はほろろと 岩倉

つゆさめぬ春の夜のほろろと 権左

洞水東流復西白 権左

其のふらふらと流るる水 権左

空山寂歴道心生 権左

くさくさとした山は静かなる 権左

新井一

釋教

之のちも佛の清く静く 古行

のちも生るる静く静く 徳橋

のちも生るる静く静く 其西

自業自得 子影

洞水東流復西白 子影

水月三昧 止

つゆさめぬ春の夜のほろろと 止

未来心身ふり得

唯佛与仁乃能究竟

公語

諸無慧患

有日月凡物之影皆能照也

素心

隨緣真如

夕暮也 是心之明也

素心

煩惱即菩提

此心即心之明也

素心

無二亦無三

神凡也 亦心之明也

素心

色空是空之別是色

新廿二

花之葉の果や布瓜の瓜瓜が

泰候

其中之生来是吾子

似我之生来也

嘯山

外面は菩薩

其の心は心之明也

素心

皆共成佛道

是心之本也

素心

十有佛性

佛之生来也

素心

唯佛与仁乃能究竟

合らぬあつらひの事痛の拍子 染毒

汝等勿抱臭屍臥種不淨假名人

ふまゝのるる名れ尾ふよ女部 道肥

淫戒 却花

徳行やとくとく 鳥若

殺生戒 鳥若

禪てん 鳥若

他力本願 二言 鳥若

生起の 尼 鳥若

正しやう 鳥若

密院

朝来也あす 其中

維い 其中

維い 其中

二月にふ 其中

淫いん 其中

祝

聖代頌

皇天垂象 聖德彰彰

二柳

射家の子孫

皇天垂象 聖德彰彰

唐風

女の子孫

皇天垂象 聖德彰彰

吳歌

年の始

皇天垂象 聖德彰彰

蘇菴

新井五

人の事

皇天垂象 聖德彰彰

仙臺

御紋

皇天垂象 聖德彰彰

青容

公乃

皇天垂象 聖德彰彰

馬凱

松乃

皇天垂象 聖德彰彰

如向

事乃

皇天垂象 聖德彰彰

如向

立乃

皇天垂象 聖德彰彰

如向

御印信のり
 萬歳の情
 井筒屋庄兵衛
 揚屋治兵衛
 同菱菰抄
 俳諧埋木
 葛原松原
 森山小文
 及日記
 竹田突

紙廿六終

蕉門俳書畧目錄	書林	井筒屋庄兵衛
奥のふろ乃	俳諧海軍	十冊 貞徳
同菱菰抄	風俗文選	九冊 許六
俳諧埋木	いづを昔	一冊 長角
葛原松原	及の小文	一冊 乙州
森山小文	續五論	一冊 支考
及日記	枯尾花	二冊 長角
竹田突	津島(讀)	五冊 支考

五冊目錄

芭蕉新繪紙傳二冊 蝶友	蕉門俳諧結録二冊 蝶友
同 發句集二冊 同	玄鳥發句集二冊 同
同 俳諧集二冊 同	玄鳥抄 二冊 蝶友
同 文集二冊 同	芭蕉門古人真蹟二冊 蝶友
同 踏合集二冊 蝶友	新考之記 一冊 同
同 七部集 二冊 蝶友	同 六字字紙本十冊 再刻
同 六字字紙本十冊 再刻	玄鳥抄 蝶友 一冊 重寫
同 續編 蝶友之記 小文庫 小刻今之記二冊	

本朝文鑑 <small>假名文集</small> 五冊 芭蕉坊	類題發句集 五冊 蝶友
新撰大和朔 <small>日本助詠</small> 二冊 同	新類題句集 五冊 同
和漢文操 <small>假名</small> 七冊 同	和之之之 二冊 蝶友
古今抄 <small>再撰貞享式抄</small> 五冊 同	鬼費句選 二冊 蝶友
俳諧十論 <small>新古評編</small> 三冊 同	麦林句集 二冊 蝶友
同 為辨抄 秘伝 三冊 同	後篇 二冊 同
和漢百花賦 一冊 同	善新發句集 二冊 蝶川
百一集 <small>表裏送發句集 百人画傍</small> 一冊 康工	千代尾句集 二冊 既白

百一集

慈門青加子	二冊	既白	白扇集	二冊	源化
姑射文庫	<small>四集</small> 三冊	曉春	挑燈人	二冊	北枝
<small>芭蕉</small> 名媛發句集	三冊	蝶夏	芭蕉行狀記	一冊	一青
小の世名	一冊	子冊	芭蕉行狀記	一冊	一青
小の世名	二冊	尚白	句抄	一冊	一青
俳諧名所小鏡	四冊	蝶夏	之州紙	二冊	中坊
其角七部集	<small>之方</small> 一冊	山家	指集	續照	
其角七部集	<small>流</small> 一冊	家續	系	系	小別今如二冊
其角七部集	<small>五冊</small> 三冊	俳諧	之	系	五冊
其角七部集	<small>五冊</small> 三冊	俳諧	之	系	五冊

寛政五年癸丑七月

皇都書肆

井筒屋庄兵衛
梓行
橘屋治兵衛

六



自...
 蘇...
 井...
 實...

卷一
 三

